

大東市下水道ストックマネジメント 事業概要

事業名	大東市下水道ストックマネジメント事業
背景・目的	<p>大東市の下水道管路施設は昭和40年代から平成10年代にかけて集中して整備され、もっとも古い管渠は標準耐用年数である50年が経過し、今後急速に老朽化することが見込まれている。</p> <p>一方、本格的な人口減少社会の到来による使用料収入の減少により、財政状況が逼迫化しており投資余力が減少している。</p> <p>以上のことから、維持から改築までのライフサイクルコストの低減化や、予防保全型施設管理の導入による安全の確保等、戦略的な維持・修繕及び改築を行い、良質な下水道サービスを持続的に提供することが重要となっている。</p> <p>このような背景のもと、大東市においても下水道事業のストックマネジメントにより、予算制約のもと、増大する改築需要に対応すべく、施設全体の管理を最適化することを目的とする。</p>
過年度事業	<p>平成28～29年度 施設情報の整理（システム更新）</p> <p>平成30年度 調査計画策定（ストックマネジメント方針立案、リスク評価）</p> <p>平成31年度 点検・調査の実施（目視、カメラ調査など）</p> <p>令和2年度 修繕改築計画（長寿命化計画）策定</p> <p>令和3年度 修繕の実施・改築箇所の詳細設計</p>